

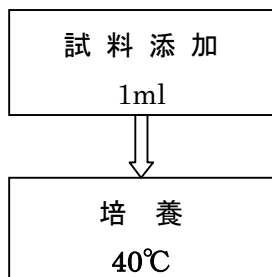
セレウス菌用 SensiMedia 使用説明書

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

この SensiMedia は、セレウス菌を他の菌から分離検出できるようにしたものです。

2. 検査の手順



試料添加

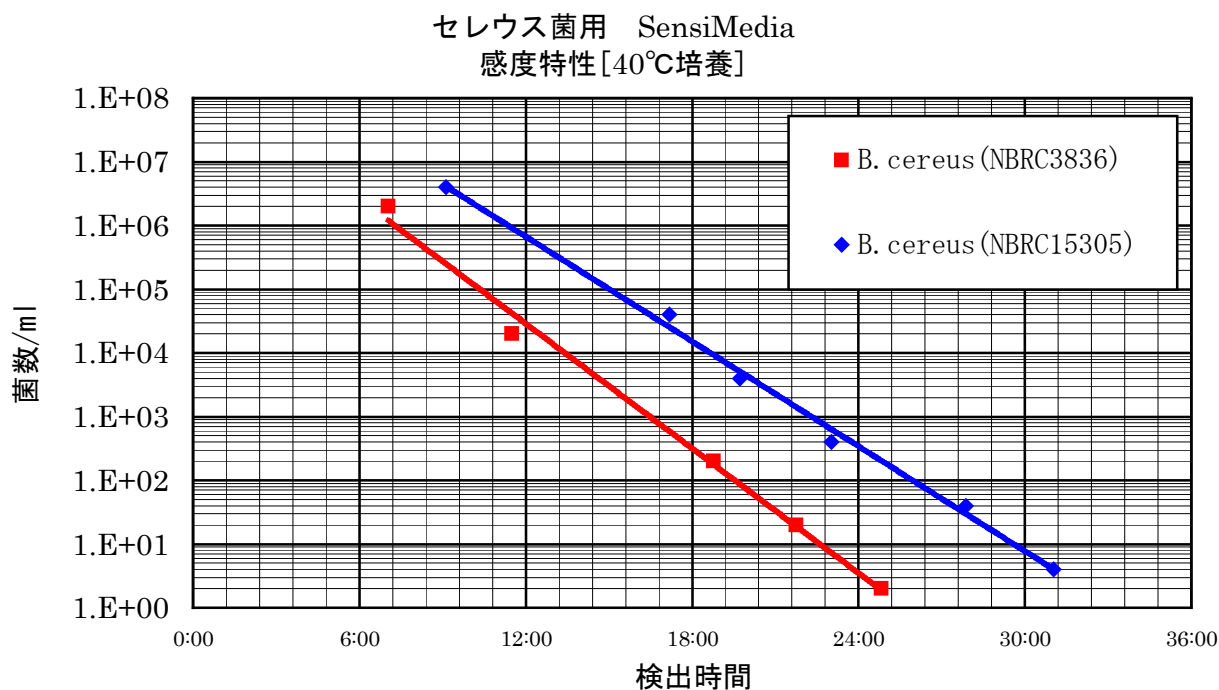
SensiMedia のキャップを開けて、試料を 1ml 添加します。キャップを締めて、インキュベーターに入れます。

培養温度

40°Cで培養してください。

3. 判定基準

標準菌株による特性は下図に示すとおりですので、試料及び危惧される菌を用い、これを参考にプロトコルを設定してご使用ください。36 時間程度経過後してもセンサーが青色のままであれば、セレウス菌は陰性と判断できます。セレウス菌が検出された場合は、センサーは、黄色透明になり、ブロスの色は赤橙色になります。



参考)

通常セレウス以外の菌は抑制されますが、例えば黄色ブドウ球菌が、SensiMedia に添加された 1ml の試料中に 10^7 個など多量に存在していた場合、18 時間程度でセンサーが反応してしまいます。しかしながら、下の写真に示すように、ブロスの色は、黄色になりますので判定が容易です。

同様に、大腸菌、乳酸菌、酵母（例、セレビシエ）も 10^7 /ml のような極端な汚染がある場合には、30 時間以上培養を続行させると、センサーが反応してしまいますが、ブロスの色は黄色になります。ホモ型乳酸菌はブロスの色を黄色にしますが、センサーは反応しません。



ネガティブコントロール
(菌は添加していない。)



セレウス菌検出
(*B. cereus* [IFO3836])



セレウス菌検出
(*B. cereus* [IFO15305])



大腸菌 (*E. coli* [ATCC25922])
 10^7 /ml 添加、30 時間以上経過



黄色ブドウ球菌
(*S. aureus* [ATCC25923])
 10^7 /ml 添加、28 時間以上経過



乳酸菌
(*L. fructivorans* [IFO13118])
 10^7 /ml 添加、30 時間以上経過



酵母
(*Sacch. cerevisiae*)
 10^7 /ml 添加、30 時間以上経過

